

事 案 一 覧 表

鉄道局都市鉄道政策課

平成25年2月26日

説明聴取事案とされたい事案

申 請 種 別	軌道運送高度化実施計画の認定
申 請 年 月 日 受 付	平成24年12月14日 平成25年 1月21日
申 請 者 名	(軌道運送高度化事業を実施しようとする者) 札幌市長 上田 文雄
申 請 内 容	(軌道法のみなし特許を受けようとする区間) 札幌市中央区南4条西4丁目 から 札幌市中央区南1条西4丁目 まで 0.4キロメートル
運 輸 局 別	北海道運輸局
備 考	

軌道運送高度化実施計画の認定申請について

1 申請者の概要

(1) 軌道運送高度化事業を実施しようとする者

- ① 申請者 札幌市長 上田 文雄
- ② 所在地 北海道札幌市中央区北1条西2丁目

(2) 交通局概要

- ① 事業者名 札幌市交通局
- ② 所在地 札幌市厚別区大谷地東2丁目4番1号
- ③ 管理者 (交通局長)下村 邦夫

(3) 軌道事業の概要(平成23年度実績)

- ① 営業キロ数 8.5キロメートル
- ② 系統数 1系統
- ③ 在籍車両数 30両
- ④ 車両走行キロ/日 1,046.437キロメートル
- ⑤ 乗車人員/日 20,359人

(4) 高速鉄道事業の概要(平成23年度実績)

- ① 営業キロ数 48.0キロメートル
- ② 系統数 3系統(南北線、東西線、東豊線)
- ③ 在籍車両数 376両
- ④ 車両走行キロ/日 34,431.927キロメートル
- ⑤ 乗車人員/日 556,610人

2 申請概要

- (1) 申請年月日 平成24年12月14日
- (2) 事業種別 軌道事業
- (3) 区間 西4丁目・すすきの
- (4) 営業キロ 0.4キロ
- (5) 単・複線の別 複線
- (6) 駅数 1駅
- (7) 運転計画 (外回り)144本/日、(内回り)147本/日
- (8) 建設費 1,829百万円
- (9) 開業予定時期 平成27年4月

3 申請理由

札幌市では、今後の超高齢・人口減少社会の到来を見据え、路面電車を都心や都心周辺部での利便性の高い生活を支える交通機関として、さらには、人や環境にやさしく、魅力や賑わいを創出するという特性を生かし、札幌市全体の活力向上に資する都市基盤として、都心のまちづくりに大きく貢献させていきたいと考えている。

軌道運送高度化実施計画は、路線(西4丁目～すすきの間)の環状化による回遊性の向上や、新型低床車両の導入による利便性、快適性の向上等を図ることにより、札幌市の新たな魅力(都市空間)の創出や、まち歩きを気軽に楽しむ交流空間の創出、すべての人にとってやさしいまち(場所)の実現を目的としている。

4 関係者の意向について

(1)道路管理者

北海道運輸局長から道路管理者である北海道開発局長に対し、意見を聴取したところ、工事等に関する意見が付されているが、異存のない旨、回答を得ている。

(2)議会

札幌市議会においては、ループ化の「軌道事業の実施」に関する議案が可決されている。

また、平成25年度実施予定の工事に関する費用が予算案に盛り込まれた。

(3)沿線の商工団体

札幌商工会議所へは、情報提供や意見交換などを密に行っており、ループ化事業に対し、理解を得ている。

(4)札幌市民

札幌市民へは、これまでパネル展の開催等による情報提供やアンケートを実施し、同事業への理解は得られている。

(5)バス事業者

ループ化される区間は、バス路線が無く、路面電車と競合しないことから、当該事業の実施について、特段意見は無いとしている。

計 画 の 概 要

項 目	概 要																			
1 申請者	事業者名 札幌市 所在地 北海道札幌市中央区北1条西2丁目 代表者 札幌市長 上田 文雄																			
2 建設区間 及び 予定工期	建設区間 すすきの～西4丁目 営業キロ 0.4km (全区間 8.9km) 予定工期 平成25年度～平成26年度 開業予定 平成27年4月																			
3 輸送需要	(全区間) <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;"></th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">年間 輸送人員 (人)</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">1日平均 輸送人員 (人)</th> <th colspan="2" style="width: 40%;">ラッシュ時最混雑区間</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">通過人員 (人/時)</th> <th style="width: 15%;">混雑率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度</td> <td>7,535千人</td> <td>20,588</td> <td>1,272</td> <td>104.3</td> </tr> <tr> <td>平成42年度</td> <td>6,900千人</td> <td>18,903</td> <td>1,168</td> <td>88.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> ○平成27年度（開業時） <ul style="list-style-type: none"> ・既設区間（西4丁目～すすきの） 最混雑区間 西15丁目→中央区役所 最混雑時通過人員 1,272人 需要 17,432人 ・延長区間（すすきの～西4丁目） 最混雑区間 （仮）狸小路→すすきの 最混雑時通過人員 295人 需要 3,156人 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> ○平成42年度 <ul style="list-style-type: none"> ・既設区間（西4丁目～すすきの） 最混雑区間 西15丁目→中央区役所 最混雑時通過人員 1,168人 需要 16,068人 ・延長区間（すすきの～西4丁目） 最混雑区間 （仮）狸小路→すすきの 最混雑時通過人員 271人 需要 2,835人 </td> </tr> </table>		年間 輸送人員 (人)	1日平均 輸送人員 (人)	ラッシュ時最混雑区間		通過人員 (人/時)	混雑率 (%)	平成27年度	7,535千人	20,588	1,272	104.3	平成42年度	6,900千人	18,903	1,168	88.5	○平成27年度（開業時） <ul style="list-style-type: none"> ・既設区間（西4丁目～すすきの） 最混雑区間 西15丁目→中央区役所 最混雑時通過人員 1,272人 需要 17,432人 ・延長区間（すすきの～西4丁目） 最混雑区間 （仮）狸小路→すすきの 最混雑時通過人員 295人 需要 3,156人 	○平成42年度 <ul style="list-style-type: none"> ・既設区間（西4丁目～すすきの） 最混雑区間 西15丁目→中央区役所 最混雑時通過人員 1,168人 需要 16,068人 ・延長区間（すすきの～西4丁目） 最混雑区間 （仮）狸小路→すすきの 最混雑時通過人員 271人 需要 2,835人
	年間 輸送人員 (人)				1日平均 輸送人員 (人)	ラッシュ時最混雑区間														
		通過人員 (人/時)	混雑率 (%)																	
平成27年度	7,535千人	20,588	1,272	104.3																
平成42年度	6,900千人	18,903	1,168	88.5																
○平成27年度（開業時） <ul style="list-style-type: none"> ・既設区間（西4丁目～すすきの） 最混雑区間 西15丁目→中央区役所 最混雑時通過人員 1,272人 需要 17,432人 ・延長区間（すすきの～西4丁目） 最混雑区間 （仮）狸小路→すすきの 最混雑時通過人員 295人 需要 3,156人 	○平成42年度 <ul style="list-style-type: none"> ・既設区間（西4丁目～すすきの） 最混雑区間 西15丁目→中央区役所 最混雑時通過人員 1,168人 需要 16,068人 ・延長区間（すすきの～西4丁目） 最混雑区間 （仮）狸小路→すすきの 最混雑時通過人員 271人 需要 2,835人 																			

項 目	概 要				
4 運行計画	年 度		平成 27 年度 (開 業 時)	(参考:平成 23 年度) 既 設 区 間	
	項 目				
	開 業 区 間	西 4 丁 目 ~ (す す き の) ~ 西 4 丁 目 間		西 4 丁 目 ・ す す き の 間	
	営 業 時 間	0 6 : 0 2 ~ 2 3 : 3 9		0 6 : 0 8 ~ 2 3 : 3 9	
	運 転 間 隔	ラッシュ時	3 分		3 分
		昼 間 時	6 分 ~ 8 分		7 分
		朝・晩閑散時	1 0 分 ~ 1 8 分		1 0 分 ~ 1 9 分
	ラッシュ時運転本数		2 0 本 / 時 (片道)		2 0 本 / 時 (片道)
	所要時分		約 5 4 分		約 5 0 分
	列車編成数		3 3 編 成		3 0 編 成
	一列車平均定員		6 1 人		6 0 人
ラッシュ時間帯		8 : 0 0 ~ 9 : 0 0			
5 建設費	(1) 建設費総額 1, 8 2 9 百万円				
	基幹事業 ループ化工事 (軌道・停留場)		1, 1 3 8 百万円		
	関連事業 ループ化工事 (電路設備)		6 2 6 百万円		
	効化促進事業 除雪車両購入		6 5 百万円		
	(2) キロ当たり建設費 4, 5 7 3 百万円				
	(3) 年度別建設費				
	(百万円)				
		平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	合計	
	基幹事業	2 3 3	9 0 5	1, 1 3 8	
	関連事業	-	6 2 6	6 2 6	
効果促進事業	-	6 5	6 5		
合計	2 3 3	1, 5 9 6	1, 8 2 9		

項 目		概 要		
6 資金計画		(百万円)		
		資 金 種 別		金 額
		社会資本整備総合交付金 (基幹事業)	国庫補助金	379
			自治体負担分	759
		社会資本整備総合交付金 (関連事業)	国庫補助金	313
			自治体負担分	313
		社会資本整備総合交付金 (効果促進事業)	国庫補助金	32
			自治体負担分	33
		合 計		1,829
7 収支試算		(全区間)		
収 入	(1)運輸収入	① 運輸数量：需要予測による。 ② 運賃：平成27年度に、現行の170円均一運賃から200円均一運賃へ改定、 それ以降は固定。		
	(2)その他	③ 運輸雑収入：平成24年度予算額の51百万円とし、それ以降も固定。		

項 目		概 要					
費 用	(3) 人件費	①要員計画 平成24年度（現在） 91人 平成27年度（延伸開業時） 90人 ②人件費単価 平成24年度は平成24年度予算を基準とし、それ以降は毎年度の人件費を個別に算出し積み上げ。					
	(4) 経 費	① 動力費 48百万円/年（物騰率 -0.1%） ② 修繕費 274百万円/年（物騰率 -0.1%） ③ その他経費 142百万円/年（物騰率 -0.1%）					
	(5) 償還利息	発行した企業債について、平成23年度以前の方は発行時の利率、平成24年度以降の利息については平成24年度予算時の利率で算出。					
	(6) 減価償却費	① 車 両 定率法 ② その他 定額法					
	8 収支算定結果	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>単年度収支好転年次</td> <td>平成32年度 (新線開業後6年)</td> </tr> <tr> <td>累積収支好転年次</td> <td>平成44年度 (新線開業後18年)</td> </tr> <tr> <td>最大累積欠損年次 (累計額)</td> <td>平成31年度 (新線開業後5年) (895百万円)</td> </tr> </table>	単年度収支好転年次	平成32年度 (新線開業後6年)	累積収支好転年次	平成44年度 (新線開業後18年)	最大累積欠損年次 (累計額)
単年度収支好転年次	平成32年度 (新線開業後6年)						
累積収支好転年次	平成44年度 (新線開業後18年)						
最大累積欠損年次 (累計額)	平成31年度 (新線開業後5年) (895百万円)						